

釋教を統轄せしむ。是れ一千六百五十二年（順治九年）にして、清朝が喇嘛黃教を尊信せし始とす。

又班禪第一世は名を珠凱布格埒克巴勒藏カイツユブククルクパルツァンと稱し、達賴第一世と共に宗喀巴を助けて、大に黃教を振興せしむ。後ち班禪第四世に至り、國事に勤勞ありしを以て威望大に著はる。清の太宗厚く之を遇し、金剛大師の尊號を贈る。

達賴喇嘛は世々前藏の拉薩府に、班禪は後藏の札什倫布タシレンブに在て傳燈承繼し、常に駐藏大臣の監補の下に立ち、達賴喇嘛は西藏全部を統治し、班禪喇嘛は達賴喇嘛に隸屬して、事を行ふ。

達賴喇嘛は、喇嘛僧中、至大至高の位に在りて宗教上無限の威力を有すること、恰も歐羅巴に於ける、羅馬法王の如し。國人は達賴を以て、西藏國と佛教とを保護せん爲め、此の世に出現せる佛陀の權化なりとして尊崇す。且つ達賴喇嘛は、世々各地喇嘛教徒の家に轉生するものと確信せり。故に達賴喇嘛の死するや、其の指示する轉生兒を求めて後繼者に選ひ、清廷の勅を請ふて之を定む。

班禪は

班禪喇嘛は西藏國の副王、所謂副法王なりと雖も、人民は班禪を以て、後藏に於け

班禪四世  
の威望

拉薩と札  
什倫布

達賴は佛  
陀の權化